

Shelter

機能改善情報

2022年2月

ナレッジスイート株式会社

※リリース当日までに、画像イメージ等に変更がある場合があります。

1. 「テーブルの管理」の機能強化

1-1 「フィルタ」に「フィルタボタンを使用する」を追加

1-2 「クロス集計」に「グラフを表示しない」を追加

1-3 「履歴」に「履歴の復元を許可」「履歴の削除を許可」を追加

1-4 「通知」に「作成後」「更新後」「削除後」を追加

1-5 「エクスポート」に区切り文字「タブ」を追加

2. エディタ項目に設定値を追加

添付ファイル項目に「添付ファイルの削除を許可」を追加

3. API機能の機能改善（※開発者向け）

■ 1. 「テーブルの管理」の機能強化

1-1 「フィルタ」に「フィルタボタンを使用する」を追加

テーブルの管理の「フィルタ」タブにて、設定項目に「フィルタボタンを使用する」を追加します。設定すると、一覧画面のフィルタに「フィルタ」ボタンが追加され、「フィルタ」ボタンを押したタイミングでフィルタ処理が実行されるようになります。

The screenshot shows the 'フィルタの設定' (Filter Settings) page. At the top, there are tabs for '全般' (General), 'ガイド' (Guide), 'サイト画像' (Site Image), '一覧' (List), 'フィルタ' (Filter), '集計' (Summary), 'エディタ' (Editor), 'リンク' (Link), '照会' (Query), '移動' (Move), 'サマリ' (Summary), '計算式' (Formula), 'ビュアー' (Viewer), '通知' (Notification), and 'リマインダー' (Reminder). Below the tabs, there are various settings for filters, including '現在の設定' (Current Settings) and '選択肢一覧' (List of Selections). At the bottom, there are checkboxes for 'フィルタボタンを使用する' (Use Filter Button), 'フィルタ設定領域を使用する' (Use Filter Setting Area), '一覧のヘッダメニューでフィルタを使用する' (Use Filter in List Header Menu), and '項目選択を使用する' (Use Item Selection). The 'フィルタボタンを使用する' checkbox is highlighted with a red box.

フィルタの各項目に入力しただけではフィルタ処理は実行されず、「フィルタ」ボタンを押したタイミングで処理が実行されます。

The screenshot shows the table view for '記録テーブル' (Record Table). The 'フィルタ' (Filter) button is highlighted with a red box. The table view includes a 'フィルタ' button, a 'リセット' (Reset) button, and various filters for '管理者' (Manager), '担当者' (Responsible Person), and '検索' (Search).

■ 1. 「テーブルの管理」の機能強化

1-2 「クロス集計」に「グラフを表示しない」を追加

テーブルの管理の「クロス集計」タブにて、設定項目に「グラフを表示しない」を追加します。
クロス集計表内の棒グラフ表示のON/OFFを設定できます。



<チェックあり>



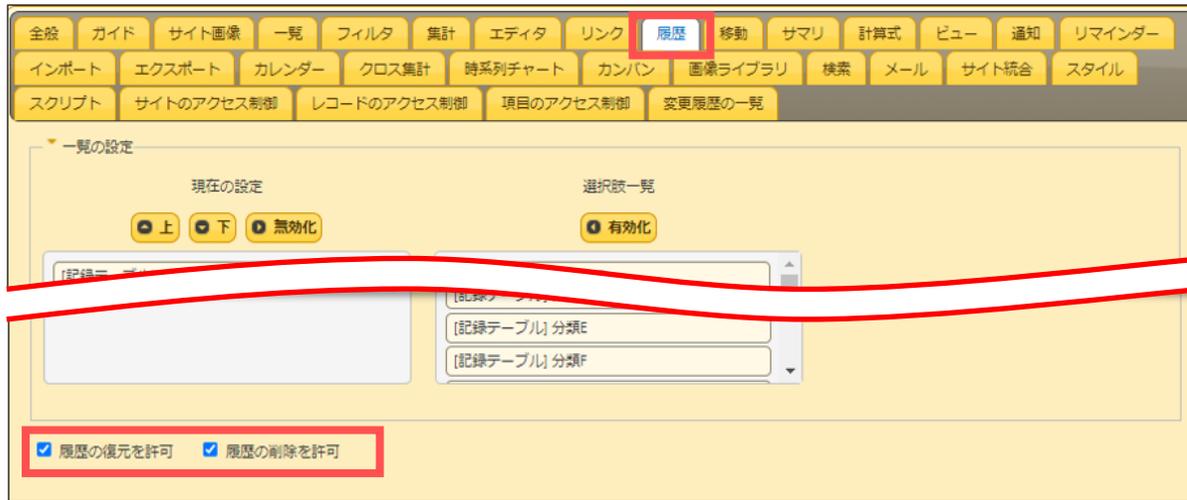
<チェックなし>

	未着手 : 0h	準備 : 41.8h	実施中 : 45h	レビュー : 39.5h	完了 : 12h	保留 : 21.1h
(未設定) : 7.8h	0h	1.8h	0h	0h	0h	6h
ネットワーク・セキュリティ : 48h	0h	40h	8h	0h	0h	0h
サーバ : 36.6h	0h	0h	9.5h	0h	12h	15.1h
運用 : 43h	0h	0h	3.5h	39.5h	0h	0h
業務 : 24h	0h	0h	24h	0h	0h	0h

■ 1. 「テーブルの管理」の機能強化

1-3 「履歴」に「履歴の復元を許可」「履歴の削除を許可」を追加

テーブルの管理の「履歴」タブにて、設定項目に「履歴の復元を許可」「履歴の削除を許可」を追加します。設定すると、「変更履歴の一覧」においてテーブルごとに履歴の削除と復元の可否設定が可能となります。



<チェックあり>

全般		変更履歴の一覧		レコードのアクセス制御		
<input checked="" type="checkbox"/> 復元 <input checked="" type="checkbox"/> 変更履歴を削除						
バージョン	タイトル	コメント	状況	担当者	更新者	更新日時
3	サンプル		未	千原 さとみ	千原 さとみ	2022/02/02 水 12:32
2	サンプル		未	千原 さとみ	千原 さとみ	2021/12/22 水 10:26
1	サンプル		未	千原 さとみ	千原 さとみ	2021/12/15 水 17:10

<チェックなし>

全般		変更履歴の一覧		レコードのアクセス制御		
バージョン	タイトル	コメント	状況	担当者	更新者	更新日時
3	サンプル		未	千原 さとみ	千原 さとみ	2022/02/02 水 12:32
2	サンプル		未	千原 さとみ	千原 さとみ	2021/12/22 水 10:26
1	サンプル		未	千原 さとみ	千原 さとみ	2021/12/15 水 17:10

■ 1. 「テーブルの管理」の機能強化

1-4 「通知」に「作成後」「更新後」「削除後」を追加

テーブルの管理の「通知」タブにて、通知の設定項目に「作成後」「更新後」「削除後」のチェックボックスを追加します。設定すると、チェックが付いているタイミングでのみ通知されるようになります。（※デフォルトはチェックあり）
※「更新後」がチェックなしの場合でも、一括更新時は通知の対象となります。

通知

通知種別: メール プレフィックス: プレフィックス

アドレス: アドレス

カスタムデザインを使用

作成後 更新後 削除後

無効

▼ 変更を監視する項目

現在の設定 選択款一覧

上 下 無効化 有効化

[記録テーブル] タイトル [記録テーブル] ロック

[記録テーブル] 内容 [記録テーブル] 分類A

[記録テーブル] 状況 [記録テーブル] 分類B

[記録テーブル] 管理者 [記録テーブル] 分類C

[記録テーブル] 担当者 [記録テーブル] 分類D

[記録テーブル] コメント [記録テーブル] 分類E

[記録テーブル] [記録テーブル] 分類F

[記録テーブル] [記録テーブル] 分類G

[記録テーブル] [記録テーブル] 分類H

[記録テーブル] [記録テーブル] 分類I

追加 キャンセル

■ 1. 「テーブルの管理」の機能強化

1-5 「エクスポート」に区切り文字「タブ」を追加

テーブルの管理の「エクスポート」タブにて、エクスポート設定項目の区切り文字に「タブ」を追加します。CSV出力時の区切り文字を「カンマ」「タブ」の2種類から選択可能になります。

エクスポート

名称 エクスポートの種類 CSV

区切り文字
カンマ
タブ

エクスポート方式 ヘッダを出力する

エクスポートする項目

現在の設定 選択肢一覧

上 下 詳細設定 無効化 有効化 [記録テーブル]

[記録テーブル]ID	[記録テーブル]サイトID
[記録テーブル]タイトル	[記録テーブル]タイトル/内容
[記録テーブル]内容	[記録テーブル]サイト
[記録テーブル]タイトル/内容	[記録テーブル]作成者
[記録テーブル]コメント	[記録テーブル]更新者
[記録テーブル]状況	[記録テーブル]更新日時
[記録テーブル]管理者	[記録テーブル]ID
[記録テーブル]担当者	[記録テーブル]バージョン
[記録テーブル]作成者	[記録テーブル]タイトル
[記録テーブル]更新者	[記録テーブル]内容

■ 2. エディタ項目に設定値を追加

以下エディタ項目の「詳細設定」に設定を追加します。

- ・添付ファイル項目に「添付ファイルの削除を許可」を追加

詳細設定

全般 拡張HTML

添付ファイル

表示名 添付ファイルA 配置 左寄せ 入力必須

読み専用 添付ファイルの削除を許可 同名ファイルを上書きする

ファイル数制限 30 容量制限(MB) 50 全容量制限(MB) 1024

説明 説明

自動ポストバック 回り込みしない 非表示

フィールドCSS フィールドCSS コントロールCSS コントロールCSS フルテキストの種類 表示名

変更 リセット キャンセル



添付ファイル

ファイルをドラッグ&ドロップしてください

📎 見積書.pdf (575.87 KB)

チェックなしの場合は、ファイルを添付した際の削除アイコンが表示されません。

■ 3. API機能の機能改善（※開発者向け）

APIで指定可能なViewの設定に、取得するデータをカスタマイズするパラメータを追加します。項目名での取得や、出力したい項目を指定しての取得が可能になります。

■ 追加パラメータ

ApiDataType

- Default: 従来の形式で出力
- KeyValues: 新しい形式で出力（※こちらを指定した場合のみ、下記設定が有効になります。）

GridColumnms

出力したい項目を指定します。例：["Title", "ClassA", "NumA"]

ApiColumnKeyDisplayType

取得するデータの項目名の形式を指定します。

- LabelText: テーブルの管理の「エディタ」タブで設定した項目名
- ColumnName: データベース上のカラム名（ClassA,NumAなど）

ApiColumnValueDisplayType

取得するデータの値の形式を指定します。

- DisplayValue: 画面に表示されるテキスト（リンク項目の場合、参照先レコードのタイトルやユーザー名など）
- Value: 値（リンク項目の場合の参照先のレコードIDやユーザーIDなど）
- Text: 基本的にDisplayValueと同じ内容が表示されますが、数値項目や日付項目で、単位やフォーマットの指定が反映されない状態で表示されます。

ApiColumnHash

個別の項目ごとにKeyDisplayTypeやValueDisplayTypeを指定する場合に使用します。